

# 北九州市響灘地区における洋上風力発電 平成 29 年度海域調査のお知らせ

次の通り、北九州市響灘地区において洋上風力発電海域調査（H29 年度）を実施しますので、付近を航行する船舶は十分な注意と調査へのご協力をお願いいたします。

◆◆◆ お問い合わせ先 ◆◆◆

（発注者）ひびきウインドエナジー株式会社  
TEL 092-980-5597  
（九電みらいエナジー(株)内）

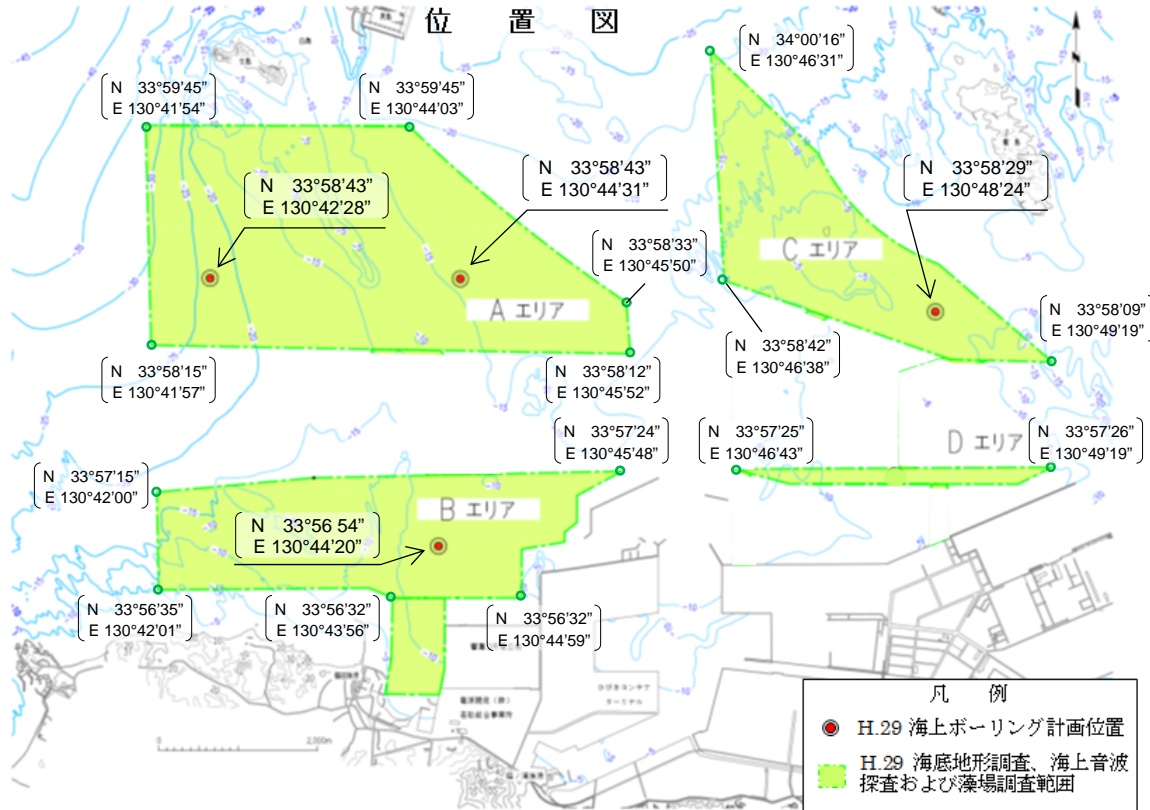
（施工者）若築建設株式会社  
TEL 093-761-1331  
一般財団法人日本気象協会  
TEL 06-4306-4350

## 1. 作業期間（平成 29 年 6 月下旬～平成 29 年 11 月中旬）

調査項目	6月	7月	8月	9月	10月	11月	備考
① 磁気探査		■	■	■	■	■	A, B, Cエリア
② ボーリング調査		■	■	■	■	■	Aエリア Bエリア Cエリア
③ 海底地形測量、 海底面調査		■	■	■	■	■	Aエリア B, C, Dエリア
④ 海上音波探査		■	■	■	■	■	A, B, C, Dエリア
⑤ 藻場調査		■	■	■	■	■	A, Bエリア C, Dエリア

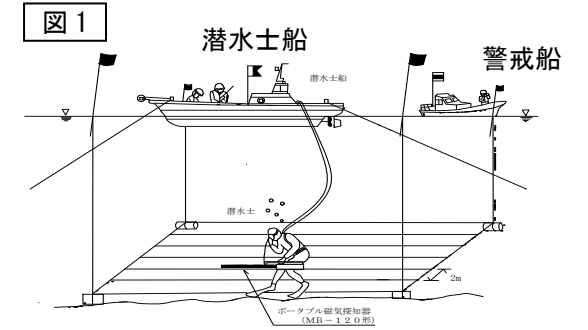
※藻場調査の点線は予備日を示します。  
※海の状況（時化等）により変更の可能性があります。  
※作業時間は、日の出から日没までとします。  
※原則として日曜日は作業を行いませんが、調査の進捗状況によっては行うことがあります。

## 2. 海域調査場所 北九州市響灘地区

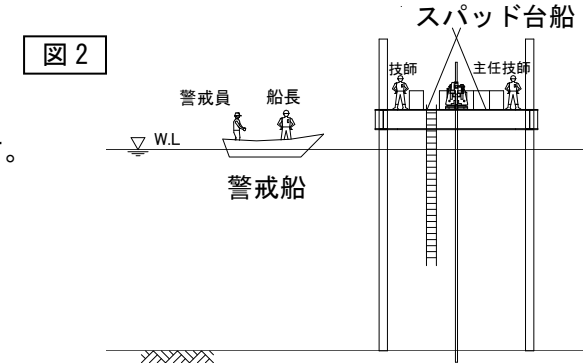


## 3. 調査概要

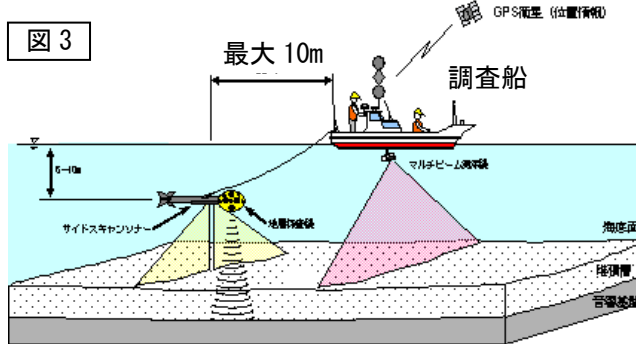
①磁気探査（施工：若築建設）（図 1）  
ボーリング調査に先立ち、調査箇所の磁気探査を行います。探査作業は、ポータブル磁気探知器（MB-120 形）を携帯した潜水士により磁気異常物の有無を確認します。なお、磁気異常物は、爆発する可能性があるため慎重に探査を行います。



②ボーリング調査（施工：若築建設）（図 2）  
スパッド式台船を使用してボーリング調査を行います。ボーリング台船は引船にて調査位置までえい航し設置します。



③海底地形測量（施工：若築建設）（図 3）  
ナローマルチビームを装備した測量船にて海底地形測量を行います。測量船は GPS を使用して位置誘導を行います。

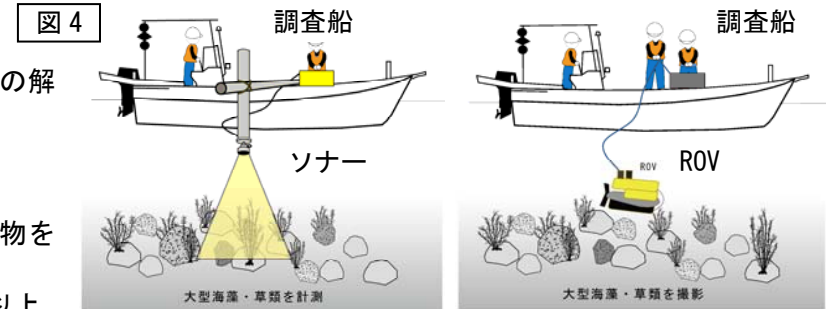


④海底面及び海上音波探査（施工：若築建設）  
地層探査機を装備した調査船にて海底面及び地質構造の状況調査を行います。本調査において、魚礁位置の確認も行います。なお、調査船は GPS を使用して位置誘導を行います。

⑤藻場調査（施工：日本気象協会）（図 4）

A, B, C, D エリア及びその周辺において藻場探査ソナーを用いて藻場分布範囲を確認したのち、植生密度が高い地点において ROV（遠隔操作型の無人潜水機）を用いて海藻藻類の撮影を行います。

⑥その他（施工：若築建設）  
海域の底質分布の把握、海底面探査、音波探査の解析時に必要な試料の採取を行います。



## 4. 調査中の安全対策

- 調査船には海上衝突予防法に定められた形象物を掲げるとともに、海上関係法規を遵守します。
- 天候には充分注意し、天候不良（風速 10m/sec 以上、波高 1.5m 以上、視界 1,000m 以下）の場合には作業を中止します。
- 作業の実施に際しては、気象・海象情報、特に注意報・警報等の発令には十分注意し、的確な措置をとります。
- 津波注意報または警報の発令時は、作業を中止します。
- 調査作業中は見張り員を配置し、一般航行船舶が調査船に接近した際には作業を中断します。
- 潜水期間中及びボーリング作業中は、警戒船を 1 隻配備し付近航行船舶に注意喚起を行います。
- 潜水作業中は、国際信号 A 旗を掲げ、4 隅にブイを設置して、潜水作業中であることを明示致します。
- ボーリング期間中は、台船の 4 隅に標識灯（L-3 型 黄色 4 秒一閃光）を設置し、一般航行船舶への夜間明示を行います。

## 5. 航行船舶へのお願い

- 調査範囲を航行される場合は、操船に影響のない範囲で速力を減速するとともに、できる限り調査船から離れて航行して下さるよう、ご協力をお願いいたします。
- ボーリング台船は、夜間ボーリング調査位置にて停泊致します。夜間にボーリング台船付近を航行される場合は、十分に注意して航行して頂きますようお願いいたします。